

基礎・基本の確実な定着を目指す指導法の研究（算数科）

～表現力を育て、学びを深める指導の工夫～

1 はじめに

平成 28 年度から 30 年度の 3 年間にわたり、春日部市教育委員会研究委嘱を受け、「基礎・基本の確実な定着を目指す指導法の研究～表現力を育て、学びを深める指導の工夫～」を主題に研究に取り組み始めた。本校は昨年度まで「国語力は学校力」のもと「生きる力としての国語力を育てる国語教室の創造」を目指して取り組んできた。その成果を、本年は、算数科の学習の中、特に問題を読み解き立式する段階（課題把握、見通しをもつ）、自分の考えを表現する段階（自力解決）、練り上げの段階（友達との比較検討、より良い考えへの気付き、学びの深まり等）、まとめの段階（獲得、定着）で生かし、基礎・基本の定着と更なる学力の向上を目指していきたいと考えている。

1 年目である本年度は、本校の考える「生きて働く国語力」の明確化を図ること、研究組織を確立し専門部の取組内容の検討を進めること、実践につなげる「手立て」を検討すること、教材研究や指導案検討を通して算数科の教科内容の研究を進めること、学習指導要領をふまえ学年間の系統性を重視した授業実践を通して理論へつなげることなどに取り組み、児童一人一人に基礎・基本を確実に定着するべく、研究を進めていく。

2 研究の概要

（1）研究の内容や方向性を明確にした全体構想とする

〈視点 1〉本校のよい点をより一層高めていく等、特色ある学校づくりに資する。

〈視点 2〉時代の要請を踏まえた開発的な研究とし、成果等を発信する。

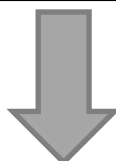
学校教育目標から	本年度の重点から	児童の実態から
育てたい児童 ◇進んで学び考える子 ◇思いやりのあるやさしい子 ◇元気でねばり強い子	◇これまでの国語研究の成果を生かし、言語活動の他教科への拡大 ◇算数科の基礎的・基本的な知識・技能の着実な定着	◇基礎・基本の徹底 ◇学習規律の確立 ◇伝え合う力の育成 ◇生涯学習につながる学びの充実（家庭学習）



〈研究主題〉

基礎・基本の確実な定着を目指す指導法の研究（算数科）

～表現力を育て、学びを深める指導の工夫～



〈主題に迫る手立て〉

- ①学年間の系統性を意識し、既習事項の確実な定着を図り、算数的活動を通して、課題を解決できるようにする
- ②見通しをもち、数学的な表現を用いて、筋道を立てて考えを進めたり、よりよい考えを作ったりできるようにする
- ③交流を通して、相手意識をもった「話す・聞く」などの活動を行い、考えを深められるようにする

(2) 目指す児童像を明らかにする

〈視点1〉 基礎・基本の定着、思考力・表現力・判断力等の育成の視点を入れたものとする

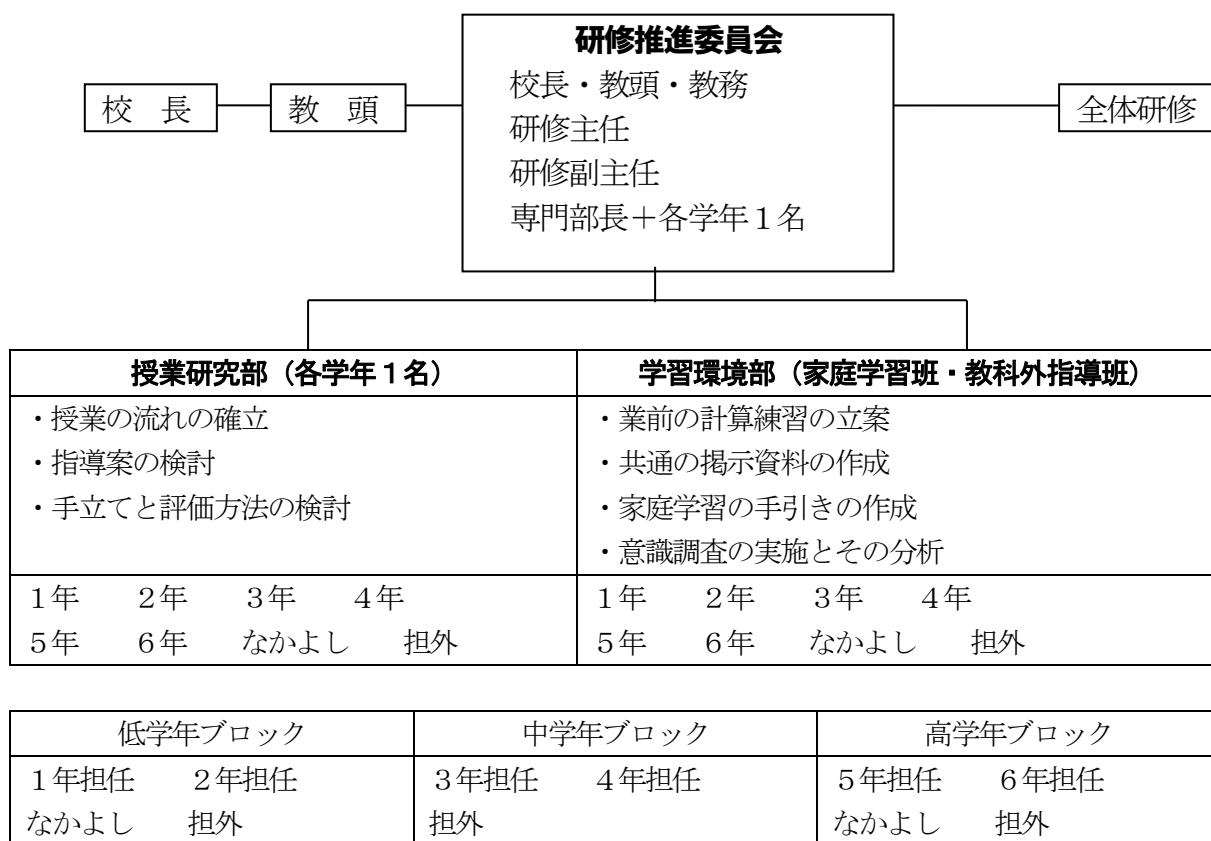
〈視点2〉 昨年度までの国語科の研究の成果を生かしたものとする

- 課題解決に向けて、最後まで粘り強く考えられる子
- 自分の考えや解決方法を分かりやすく表現できる子
- 交流を通してよさを認め合い、考えを深められる子

(3) 実効性のある研究推進組織とする

〈視点1〉 2つの専門部により研究の視点と方法を具体的かつ明確なものとする。

〈視点2〉 子どもに確かな学力を育てるための同僚性を基盤とした研究とする。



(4) 実践につなげる授業研究会、研修とする

〈視点1〉 学習指導要領をふまえた系統性のある授業を展開する。

〈視点2〉 算数のエキスパートによる指導を仰ぎながらも、課題は自分たちで解決する気概をもつ。